

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



捨て切れぬ過去は捨てよと雪の降る
合掌の一日一日や冬將軍
雪かぶる赤き実ひとつ日和かな
いま少しうつし世のゆめ初ねざめ
白髪をそつと労はる冬帽子
暮早しナースを呼び出す午前二時
空つ風うれいも飛ばし家路かな
駆けってくる冬の足音もう間近
任侠の名声天に日の短

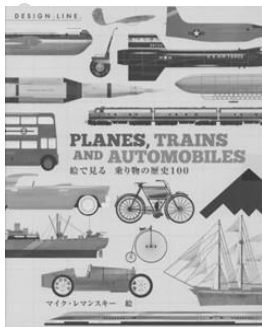
緑町 齋藤 嘉子
元町 印牧 安子
西町 金澤 頼子
仲町 徳井 隆男
元町 竹内スミエ
南桜町 宮腰 幸子
仲町 玉野 研一
西岡町 渋谷みさ子
緑町 池田 良子

襟立ててバス停に立つ冬の朝
少しづつ用事が残る日の短
若い日の面影捜す初鏡
冬の雷俄かに響き身のすくむ
湯加減は少しぬるめの柚湯かな
陽を受けて素手のまま行く冬浅し
良き事の少しはありて冬至かな

仲町 坂部 和子
元町 西崎 弘子
屯田町 古屋 克江
仲町 梅基 文字
旭町 大河 博子
旭町 大河内清枝
西町 岸波 君江

冬晴れや揃えた玩具孫を待つ
読み返す子らのメールや初昔
大根の白さやさしさ柔らかさ
元朝の皆で御勤め御神酒かな
雪曇る義父を介護も終の別れ
喜寿となる夫を労わり年忘れ
生つ国を遙か置き去り流水来
農を継ぐ人居なくして秋終る

藤本町 鈴木ゆき子
西町 高井 孝子
東町 高草木喜代子
西岡町 高瀬久美子
東町 高橋世津子
西町 文梨 清子
仲町 芳賀 星子
旭町 大河 茂



『絵で見る 乗り物の歴史100』

クリス・オックスレード文
マイク・レマンズキー絵
よねむら知子訳
(ポプラ社)

燃料電池車や新幹線、二輪車・航空機など、乗り物は今でも日々進化しています。この絵本では、19世紀から現在までの中で、「革命的」と言われた乗り物を紹介しています。マツダRX-7も載っています。



information 絵本の館から

新着図書

- ・マララ (マララ・ユスフザイ 著)
- ・レジェンド! (城島充 著)
- ・跳びはねる思考 (東田直樹 著)

ほか

今月のおすすめ絵本



『メリーさんのひつじ』

ウィル・モーゼス著
こうのあゆきこやく
(福音館書店)

だれもが知っている「メリーさんのひつじ」という歌の歌詞は、約200年前のアメリカで実際にあったことが元になっているそうです。牧場で暮らす少女メリーと子ひつじの優しく楽しい日々のおはなしです。